

がくしゅう じょうないし せつ へん
学習シート「城内施設」編

— 名古屋城にはどんな建物や庭園があるのでしょ—

なごやじょう たてもの ていえん み
名古屋城の建物や庭園を見てみよう



名古屋城には、「本丸」に天守閣・小天守閣、本丸御殿、東南隅櫓と西南隅
 櫓、表二之門と旧二之丸 東二之門、「二之丸」に庭園と大手二之門、「御深井
 丸」に西北隅櫓があります。



てんしゅかく しょうてんしゅかく
天守閣と小天守閣

てんしゅかく がいかん じゅう ち か かい そうとうがた
 天守閣は外観5重、地下1階の層塔型
 てんしゅ しょうてんしゅかく がいかん じゅう ち か
 天守です。小天守閣は外観2重、地下1
 かい ち かい てんしゅかく ち かい はし
 階のつくりで、地階は天守閣の地階と橋
 だい いしがき つう ろ むす
 台という石垣の通路で結ばれています。



すみやぐら
3つの隅櫓

ほんまる どうなんすみやぐら せいなんすみやぐら お
 本丸には東南隅櫓と西南隅櫓、御
 ふ け まる せいほくすみやぐら すみやぐら
 深井丸には西北隅櫓の3つの隅櫓が
 げんざい の こ せいほくすみやぐら きよ
 現在も残っています。西北隅櫓は「清
 す やぐら い じょうない
 須櫓」とも言われ、城内でただ1つの
 じゅう かい
 3重3階のつくりになっています。
 どうなんすみやぐら せいなんすみやぐら そと
 東南隅櫓と西南隅櫓は、外から2
 じゅう み ない ぶ かい じゅう
 重に見えますが、内部は3階で、2重3
 かい
 階のつくりになっています。



せいほくすみやぐら じゅうようぶん か ざい
 西北隅櫓（重要文化財）



どうなんすみやぐら じゅうようぶん か ざい
 東南隅櫓（重要文化財）



せいなんすみやぐら じゅうようぶん か ざい
 西南隅櫓（重要文化財）

じょうもん いち の もん に の もん
城門（一之門と二之門）

じょうない ほんまるおとてに の もん きゅう に の
 城内には、本丸表二之門と旧二之
 まるがしに の もん に の まるおとて に の もん
 丸東二之門、二之丸大手二之門の3
 つの城門が現在も残っています。
 じょうもん げんざい の こ
 城門は、2つの門（一之門と二之門）
 じょうもん もん いち の もん に の もん
 で「枳形」をつくり、敵の侵入を防ぐしく
 ますがた てき しんにゆう ふせ
 みになっていました。また、本丸表二
 ほんまるおとてに の もん
 之門の左右の土堀には「鉄砲狭間」
 の もん さ ゆう ど べい てっほう ざ ま
 が設けられています。一之門の形を櫓
 もん ouchi no mon katachi kouraimon i
 門、二之門の形を高麗門と言います。



ほんまるおとてに の もん じゅうようぶん か ざい
 本丸表二之門（重要文化財）



きゅうに の まるがしに の もん じゅうようぶん か ざい
 旧二之丸東二之門（重要文化財）



に の まるおとて に の もん じゅうようぶん か ざい
 二之丸大手二之門（重要文化財）

こうぎ ぶしん いしがき
公儀普請の石垣

名古屋城の石垣工事は公儀普請として、西国・北国の大名20家によって行われました。大小守台の石垣は、加藤清正によって築られました。守台の石垣は弓のようにそり、石の重みや土の圧力がたくみに分散されています。ゆがみにくく、しかも美しい形になっています。また、石垣工事に使われた石垣の石には、他の大名が運んできた石と区別するために、名前や記号などの刻印が刻まれています。



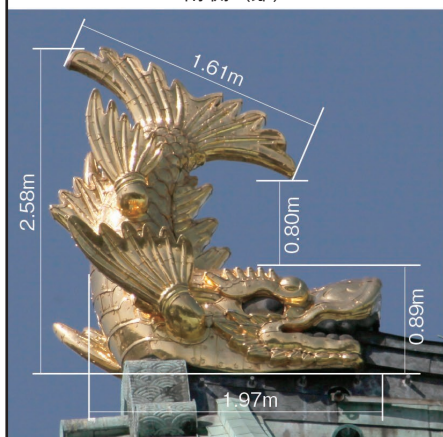
てんしゅだい いしがき
守台石垣

しょうだい たいめ きんしゃち
初代と2代目の金鯢

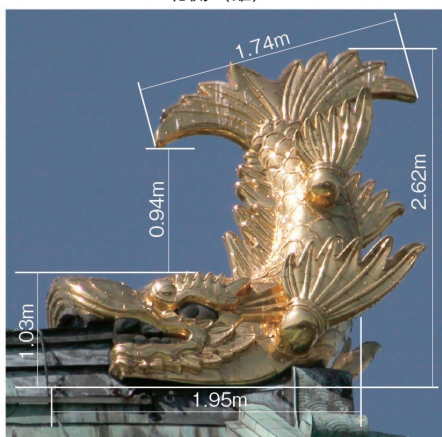
名古屋城の守の屋根には、建物火災から守る霊獣として、金鯢が載っていました。初代の金鯢に使用された金は、純度80パーセントの金、小判に

して1万7975両に相当するものでした。その後金鯢のうろこは何度も鋳直され、1945年(昭和20)5月の空襲で、守とともに焼け落ちてしまいました。現在の金鯢は、1959年(昭和34)につくられた2代目の金鯢です。

みなみがわ めす
南側(雌)



きたがわ おす
北側(雄)



たいめ きんしゃち
2代目の金鯢

めいしょう に の まるていえん
名勝二之丸庭園

に の まるていえん しょだいよしなお いらい
二之丸庭園は、初代義直以来、
だいだい おわりはん はんしゅ す に の まるご
代々、尾張藩の藩主が住んだ二之丸御
てん せつ だいめうていえん
殿に接してつくられた大名庭園です。

え ど じだい ていえん ず おお つきやま
江戸時代の庭園の図には、多くの築山
おちや えが はんしゅ す じょうない ご
や御茶屋が描かれ、藩主が住んだ城内御
てん ていえん にほんいち き ぼ
殿の庭園としては日本一の規模です。

※「名勝」とは、景色がよく古くから残る有名な
ばしよ ばしよ
場所。

1617年 ねん げん な (元和3)	に の まるごてん かんせい 二之丸御殿が完成しました。
1620年 ねん げん な (元和6)	しょだいよしなお に の まるごてん うつ 初代義直が二之丸御殿に移り、 ごていえん その後庭園がつけられました。
1804~30年 ねん ぶん か ぶんせい き (文化・文政期)	だいなりとも ていえん だいかいぞう 10代斉朝が庭園の大改造を おこな 行いました。
1953年 ねん しょう わ (昭和28)	きた お にわ まえにわ めいしょう してい 北御庭と前庭が名勝に指定 されました。
2018年 ねん へいせい (平成30)	に の まるていえん ぜんいき 二之丸庭園のほぼ全域が めいしょう つか してい 名勝に追加指定されました。

